

「下田市」誕生の経緯

それから15年後の昭和45年9月に、地方自治法の一部改正により、市になるための要件が人口3万人以上となる特別措置がなされ、昭和46年1月1日、市制施行により下田市は県内で19番目の市となりました。

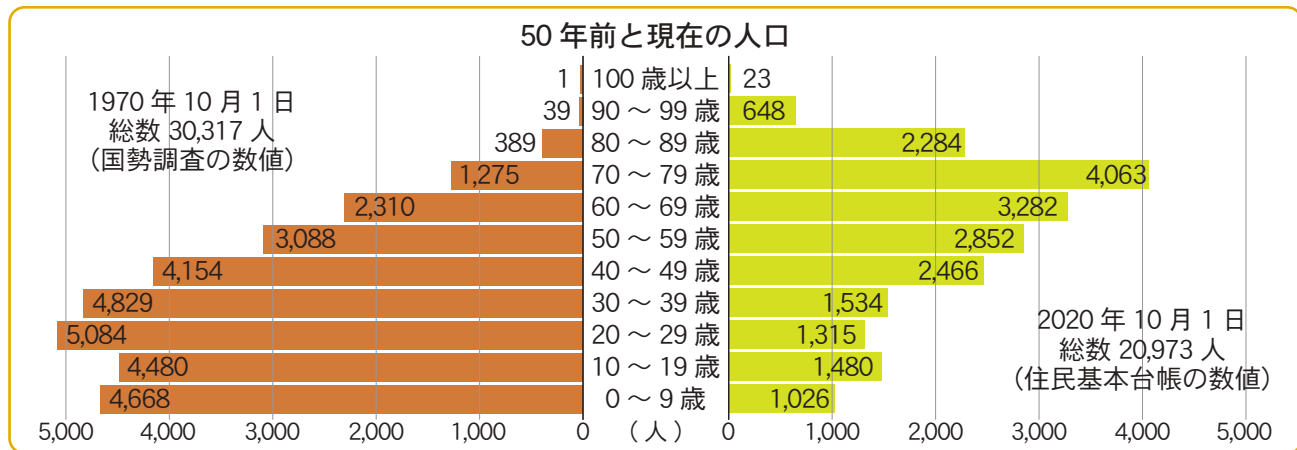
近代都市としての歩み

「南伊豆地方の中心的文化都市として、目覚ましい発展を遂げつつありますが、これから、市民の皆様と共に心を一つにし現在受け継がれ

た、良い伝統と遺産をよりどころとして、更に住みよい郷土の建設に努力してまいりたい。50年前に発行された『しもだ 市制施行記念号』でも、石井基市長のあいさつの言葉です。

この言葉のとおり、下田市は公共施設や上下水道などの公共インフラ整備、道路や生活環境の改善などのまちづくりを住民と協働で続け、近代都市・国際観光都市としての歩みを進めてきました。現在の下田市の姿は、先人の努力によって築かれたものであることを忘れてはなりません。

市制施行50周年を迎えるに当たり、これまでの歴史を振り返り、市勢の発展に寄与された方々への功績に深く感謝するとともに、引き続き夢と希望を未来につなぐ、持続可能なまちづくりに向けて、諸施策を推進してまいります。



出生



2019 年	0.3 人
1970 年	1.3 人

死亡



2019 年	1.1 人
1970 年	0.7 人

轉 入



2019 年	2.1 人
1970 年	7.2 人

轉 出



2019 年	2.5 人
1970 年	5.6 人

2020年代	2010年代	2000年代	1990年代
令和3 市制施行50周年	令和2 新型コロナウィルス流行 新下田中学校着工	令和元 即位の礼奉祝記念式典開催	平成30 伊豆半島がユネスコ世界ジオパークに認定
平成29 下田市が過疎地域に指定	平成28 学校給食センター完成	平成27 伊豆新世紀創造祭開催	平成26 認定こども園開園
平成24 下田メディカルセンター竣工⑧	平成23 東日本大震災⑦ 下田元気祭開催	平成22 地域子育て支援センター開設	平成21 下田メディカルセンター竣工⑧
平成21 フラワー都市交流連絡協議会総会開催	平成20 ニューポルト市姉妹都市提携50周年記念行事挙行	平成19 沼田市姉妹都市提携40周年記念植樹祭挙行	平成18 ご当地ナンバーとして「伊豆ナンバー」導入
平成17 日露修好150周年記念事業開催	平成16 下田開港150周年記念事業開催	平成15 マイマイ通り完成	平成14 下田小学校放課後児童クラブ発足
平成13 NEWわかふじ国体成年男子ビーチバレー競技開催	平成12 まどが浜海遊公園完成	平成11 加増野農林水産物処理加工所完成	平成10 第1回下田水仙ツーデーマーチ開催
平成9 共立湊病院開設	平成8 市営大沢住宅完成	平成7 田牛地区集落排水事業供用開始	平成6 ベイ・ステージ下田（道の駅開国下田みなと）完成⑤



⑧下田メディカルセンター



⑦大川端沿いに津波被害



⑥県立下田高校開校式



⑤ベイ・ステージ下田

1990 年代			1980 年代			1970 年代																									
平成 6	平成 5	平成 4	平成 3	平成 2	平成元	昭和 63	昭和 61	昭和 60	昭和 59	昭和 58	昭和 57	昭和 56	昭和 54	昭和 53	昭和 51	昭和 50	昭和 49	昭和 48	昭和 46												
勤労者総合福祉センター（下田市民スポーツセンター）完成	下田地区消防組合新庁舎完成④	稲生沢公民館完成 下田幼稚園完成	公共下水道一部地域供用開始	あずさ山の家完成 須崎保育所完成	伊豆半島南部の集中豪雨発生③	敷根公園健康広場・テニスコート完成	下田市民文化会館完成②	稲梓基幹集落センター完成 下田保育所完成	弁天島に吉田松陰・金子重輔像設置	敷根公園屋内温水プール完成	伊豆大島噴火、避難島民受入れ	総合福祉会館完成 新下田ドック（株）発足	下田小学校完成	公共下水道事業終末処理場、福浦に位置決定	下田中学校完成 下岡蓮杖翁胸像除幕式举行	板戸海水プール完成	稲生沢小学校完成 焼却場完成	下田地区消防組合設立	稲生沢中学校完成	敷根公園造成工事着工	「北方領土の日」第1回下田集会	伊豆斎場完成	ジミー・カーター米大統領が来訪	マンズフィールド米国大使黒船祭に初参加	市立図書館完成	萩市と姉妹都市提携	伊豆半島沖地震発生	中村区画整理事業完成	観光キャッチフレーズ「伊豆の太陽」に決定	須崎御用邸が完成	市制施行 下田町が下田市になる①



④下田地区消防組合旧庁舎



③落合地区国道 414 号分断



②市民文化会館



①市制施行パレード